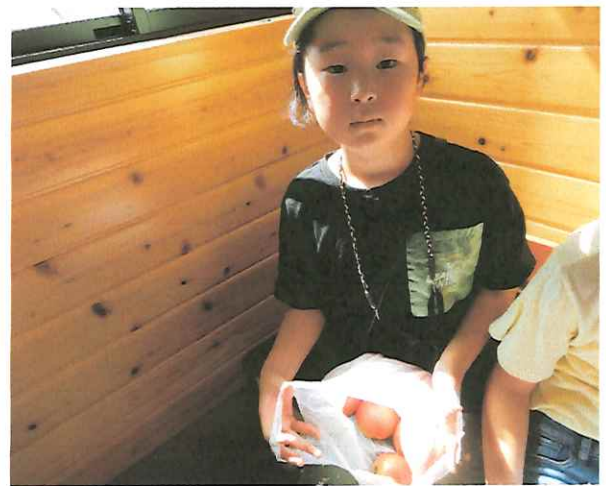


見つけたよ 地域の宝⑤まとめ

飯富小学校学区

私たちの八景



水戸市立飯富小学校

4年1組 薄井 那奈

6年1組 薄井 杏奈

もくじ

- 1 研究したわけ
- 2 研究の進め方
- 3 研究したこと
- 4 研究して分かったこと
- 5 感想

1 研きゅうしたわけ

私たちは、岩根町から飯富小学校に通っています。学校に着くまでに、藤井川にかかる橋をわたり、日新坂を上がります。休みの日は、曾祖母の畑で草取りや野菜をとる手伝いをします。自転車に乗って、畑の中の道や那珂川の堤防の上を走ります。

私たちの母は、詩吟をしています。鹿島神宮で「水戸八景」を吟じるのを見ました。「水戸」という名前がついているのが不思議だなと思いました。母に聞いたり、調べたりしてみると、江戸時代、水戸藩第9代藩主徳川斉昭が、水戸藩の中の景色が良い所を8つ選んで「八景」と決めたことが分かりました。借楽園の中にある「儂湖の暮雪（せんこのぼせつ）」の碑を見に行きました。水がキラキラして、きれいな千波湖が見えました。雪の様子は見たことがありませんがきつときれいだろうと想像しました。那珂湊の祖母の家に行ったとき、「水門の帰帆（みなとのきはん）」を見ました。高い場所にあり、海が見えました。魚をとった船が帰ってくる様子だそうです。

それで、私達は思いつきました。いつも行っている川や畑の他に、何か面白い所はないか、もっとよく見てみたいと思いました。そして、面白い所や不思議だと思った所を8つ選んで、斉昭公のように「〇〇八景」を決めたいと思いました。平成29年は「岩根八景」、平成30年は「藤井八景」を選びました。令和元年は、一年生になった妹と二人で探検し「飯富八景」を選びました。令和元年10月に岩根町が洪水になりました。曾祖母の家も畳の上まで水が来ました。川から流れてきた汚れた水でぬれてしまった物の片付けや壊れてしまった所を直すのに多くの時間がかかったことと、新型コロナウイルスの感染が広がり夏休みが短かったこともあり、令和二年は探検ができませんでした。昨年、令和三年は、どうしても探検に行きたかったので、感染防止に気をつけながら「成沢八景」を選びました。

今年は、姉の杏奈は6年生なので、卒業の年です。それと、今年5月に渡里町に私たちの新しい家のできたので、飯富小学校で勉強するのは最後の年になります。そこで、昨年までに飯富小学校学区全部の地区を探検してきたこと振り返ってまとめることにしました。

2 研きゅうの進め方

① 振り返る これまで探検してきた地区のファイルや写真を見ながら、心に残っていることを話したり聞いたりする。

② 飯富小学校学区「私たちの八景」を選ぶ。 4地区2つずつ選ぶ。

① パンフレットを作る。

飯富小学校学区全体の地図を書き、4つの地区が分かるように地区に色を付ける。その中に8つの場所が分かるような印を付ける。

② 「水戸郷土かるた」のような「かるた」を作る。

選んだ8つの場所で撮ってきた写真を参考にしながら、絵を描き、自分で絵札を作る。読み札も作る。

③ 楽しめるか家族でカルタを遊んでみる。

たった8枚しかありませんが、家族で手作りカルタで遊んでみる。遊んだあと、どんな感じがしたか両親に感想を聞いたり、遊んでいるときの幼稚園生の弟の様子を観察する。

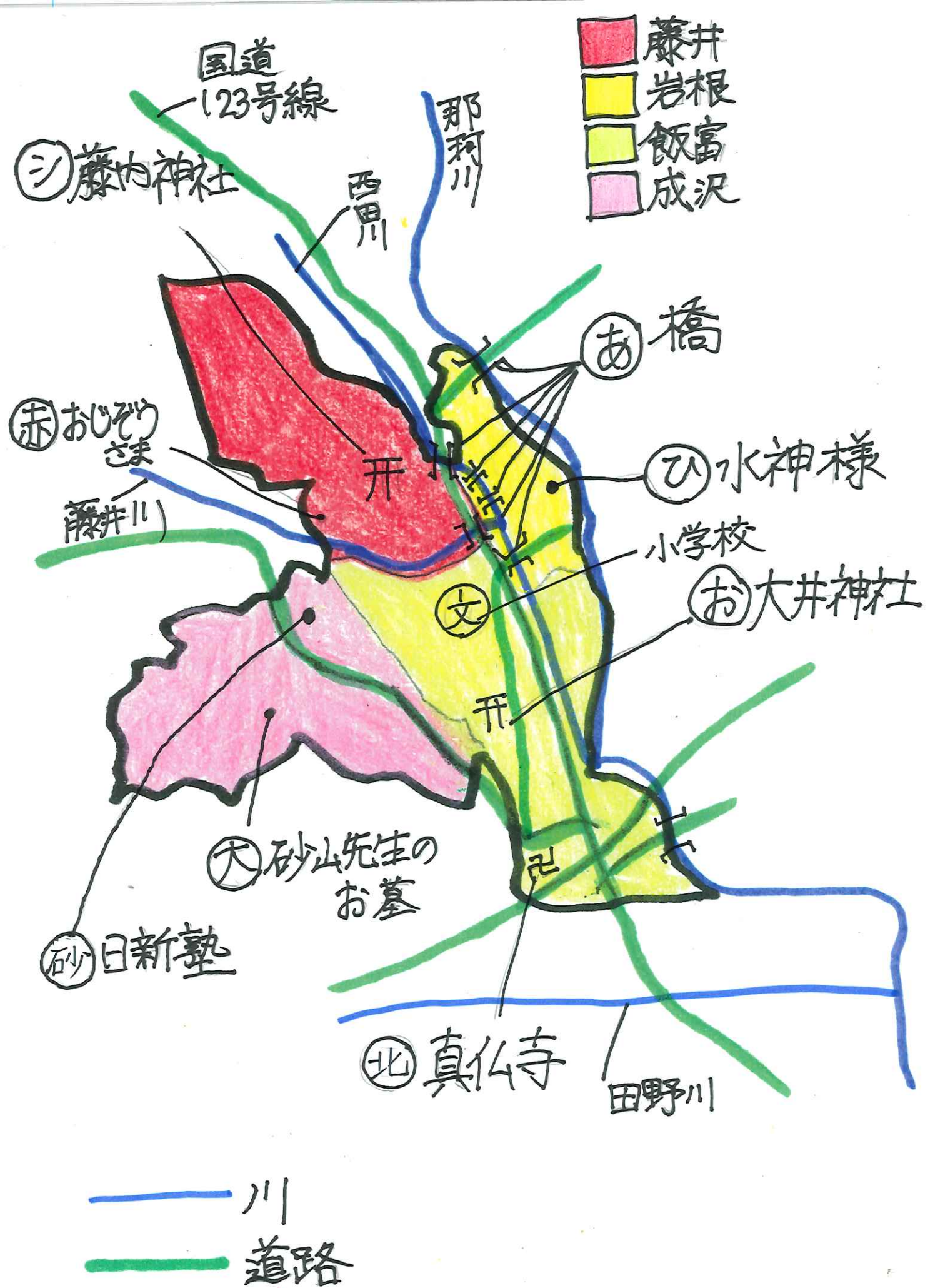


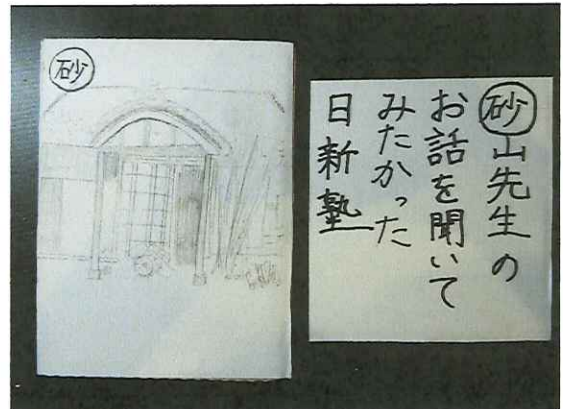
図2 私たちが選んだ「私たちの八景」の場所

3 研きゅうしたこと：飯富小学校学区私たちの八景

㊦ 2

① 「砂山先生のお話を聞いてみたかった 日新塾」

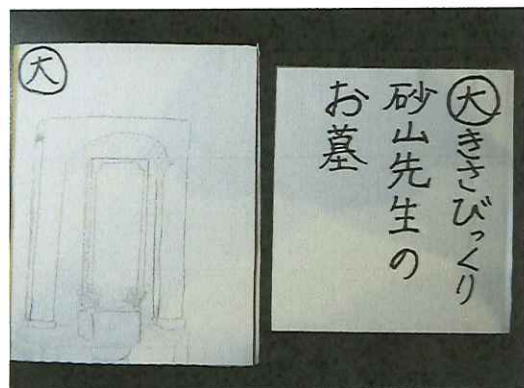
砂山



江戸時代の水戸はとても学問がさかんで、多くの私塾が作られていました。中でも代表的な私塾が日新塾です。加倉井砂山というとても優れた学者が教えていました。学芸では、読書、習字、作詞作文、歴史、数学、兵学、こう議、論議、輪読、とう論会。武術では、剣術、砲術、馬術、教練を勉強していました。生徒の数は、約30年間で1000人をこえ、水戸藩以外のじゆく生もいました。2015年に日本遺産第1号に認定されました。

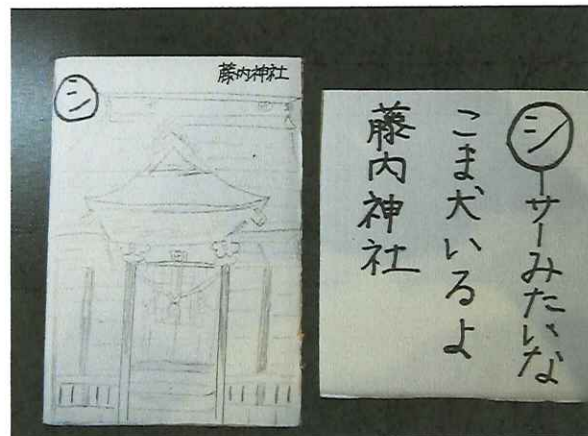
② 「大ききびっくり 砂山先生のお墓」

大



砂山先生のお墓の入口には、大きな石で作られた「贈正五位加倉井砂山先生墓入口」があります。畑の中の道を森の方へまっすぐ進むと階段があります。山を登りながら、さらに左奥へ進むと右側に大きな石の階段があります。階段を上がると今まで見たことがないようなお墓の広さです。広い敷地の中には、加倉井砂山先生と宇良子さんのお墓だけが並んで立ててあります。砂山先生のお墓の石の周りには、砂山先生がどんなにすごい先生かについて約360の漢字を使って書いてあります。

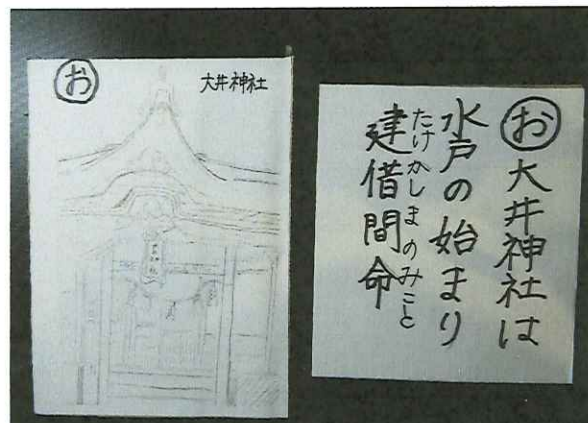
③シーサーみたいな こま犬いるよ 藤内神社



藤内神社は、藤井町のまん中にあります。経津主神（ふつぬしのみこと）は武道の神様です。721年朝房山から藤井町に光が差し、人々が驚き、神社を作ったそうです。1062年源義家（みなもとのよしいえ）が、戦いに行くとき、この神社にきて、戦勝祈願したそうです。

今年は、創建1300年を祝って、7月31日に花火が上がりました。これまで藤井や岩根地区で花火大会が行われたことがありません。曾祖母に聞いても、岩根にお嫁に来てから60年以上たつが初めての事だと言っていました。

④大井神社は水戸の始まり 建借間命(たけかしまのみこと)



大井神社は、水戸の中でもとても古い神社です。神様の名前は、建借間命（たけかしまのみこと）です。平安時代からある神社です。建借間命は、今から1500年前、大和朝廷から国をまとめることを頼まれました。鹿島の方から那珂川流域まで治めたので那賀国造という役になりました。那賀国は、飯富辺りが中心でした。これが水戸の始まりになったそうです。

⑤ 北条さん 幸せ願って 真仏寺

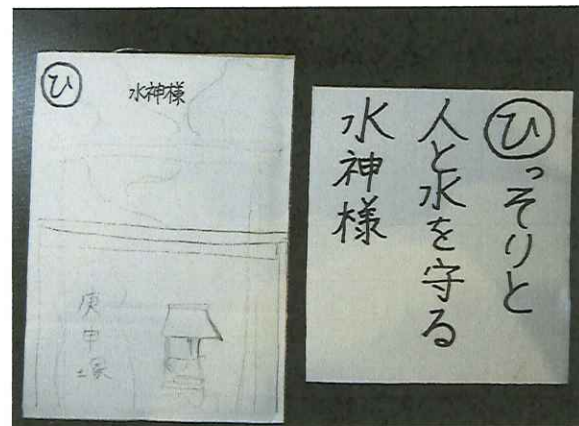
北



真仏寺は、浄土真宗のお寺です。高速道路の近くににあります。北条（大部）平太郎維芳と言う人がお寺を建てました。真仏と言うのは、北条さんがお坊さんになったときの名前です。稲田から親鸞を招いて100日の説法をしてもらったそうです。親鸞の銅像がありました。

⑥ ひっそりと 人と水を守る 水神様

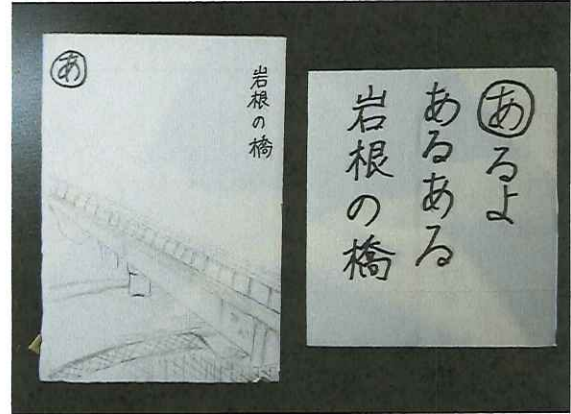
ひ



水神様は、那珂川の古い堤防の端にあります。畑や田んぼで野菜やお米をつくる人にとって、水は大切なものです。十分な雨が降ることを祈ったそうです。もうひとつは、昔は、川は、畑や田んぼに栄養を運んでくれる大切な物でしたが、川の水が溢れて洪水にならないように、神様にお願いしたようです。母の曾祖母は洪水になることを、「水増しになる」と言っていたそうです。

⑦ あるよあるある 岩根の橋

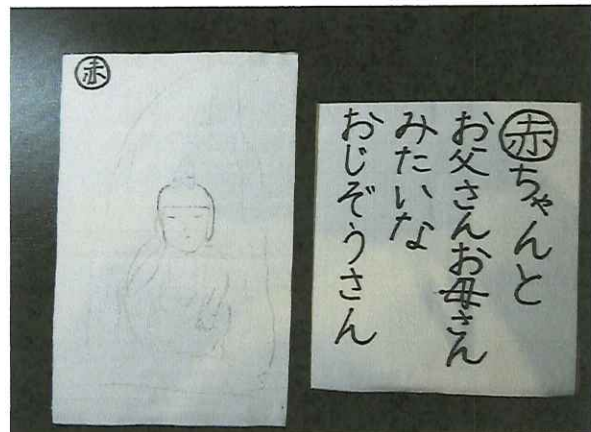
あ



岩根には、「藤井大橋」、「古川橋」、「藤井新橋」、「中西大橋」、「とろんこ橋」、「赤古橋」（この橋の名前が見つからなかったので私が付けました。赤い色で古かったのでこの名前にしました。）6つあります。こんなにたくさんの橋が見つかってびっくりしました。

⑧ 赤ちゃんとお父さんお母さんみたいな おじぞうさん

赤



お地蔵さんは4か所ありました。どこのお地蔵さんも屋根がついた小さいお家のような中にいました。祠というそうです。お地蔵さんをよく見ると、小さい赤ちゃんを抱っこしたお母さんとお父さんのように見えました。家族が仲良くなりますようにという願いがあるのかなと思いました。

4 研究して分かったこと

① 長い歴史と伝統がある

飯富地区にある大井神社は、水戸の中でもとても古い神社です。神様の名前は、建借間命（たけかしまのみこと）で、平安時代からあります。

藤井地区にある藤内神社は、藤井町の真ん中にあります。神様の名前は経津主神（ふつぬしのみこと）で、奈良時代からあります。今年は、創建1300年に当たるようで、7月31日に花火が上がりました。これまで藤井や岩根地区で花火大会が行われたことがありません。浴衣を着て藤内神社へ行きました。友だちと一緒に花火を見たり、フルーツを食べたりしました。曾祖母に聞いても、岩根にお嫁に来てから60年以上たつが初めての事だと言っていました。花火を見たとき、毎年みんなと一緒に見たいなと思いました。

② 地面の高さに違いがある 1

4つの地区を探検してきて、地面の高さの違いがあることに気づきました。岩根町はすべては低い土地です。他にも藤井町の藤井川に近い部分と飯富町の那珂川に近い部分が低い土地だということが分かりました。

成沢地区と飯富は台地です。土地が高い場所だということが分かりました。小学校は高い場所にあります。洪水に合わないよというのと、避難場所になるために高い所に建てられているのだと思いました。

③ 洪水被害がある低い地域

私達の母が生まれた岩根地区は、那珂川、藤井川、西田川に挟まれた場所です。6つの橋もあり、低い土地です。私が3年生の10月12日、お隣の栃木県や茨城県に降った雨によって洪水になりました。藤井川と西田川は那珂川に流れ込む支流です。上流から降った雨が多すぎました。藤井川の水が那珂川に流れなくなってしまいました。たまってしまった川の水は行き場所を失い、藤井地区の堤防が切れて水があふれました。あふれた水はお隣の岩根地区にも流れ込んできました。岩根地区は長い堤防に囲まれているので、流れ込んだ水はそのままどこにも流れていくことができなくなってしまいました。曾祖母の家は母が赤ちゃんの頃に起きた洪水の後、土盛りという土を盛り上げたその上に家を建て、洪水から家を守るようにしたそうです。でも、今回の洪水は予想以上の雨により、経験したことのないような洪水が起きてしまったそうです。気候変動なども関係していると思いました。もっと岩根など土地が低い所に洪水を防ぐ工夫がされるといいなと思いました。

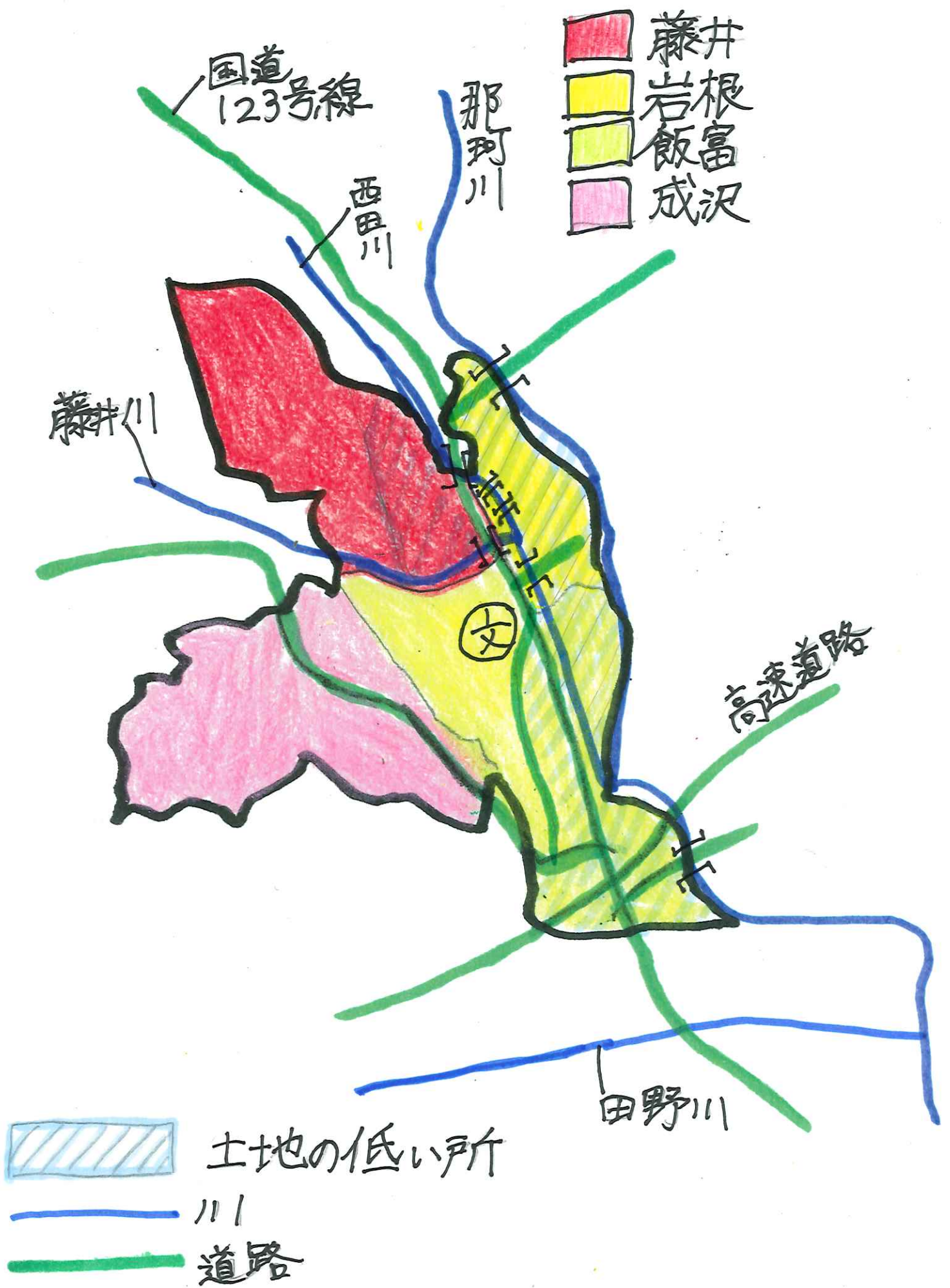


図1 地面の高さの違い

5 感想

この6年間、『見つけたよ地域の宝発見』をしてきた中で色々な出来事がありました。

1年目、那珂西大橋を観察しに行った帰りのことです。突然の大雨に降られてびしょ濡れになりながら自転車をこいで帰りました。那奈はまだ保育所に行っていました。小さな自転車を一生懸命にこいでいました。(岩根地区)

2年目、藤内神社の大藤を見に行った時、木の周りに池がありました。ザリガニをつろうと思ったら足を滑らせて池に落ちてしまいました。(´・ω・`)泥だらけになりました。(藤井地区)

3年目、誰もいない駐在所。飯富の安全をこれからもよろしくお願いします。|∩°) 消防署には沢山の消防士さんが居てインタビューも快く受けてくれました。火事や怪我のときでも、すぐに助けに来てくれるなって思いました。(飯富地区)

4年目、暑すぎて曾祖母に助けを求め、飲み物やアイスを届けてもらいました。あの時のアイスがとても美味しかったです。(*´艸`) (成沢地区)

5年目、いよいよ飯富の最後のまとめになりました。改めて見返してみると、たくさんの思い出があります。この研究をしたことで私達は、飯富探検隊に認定されたらいいなと思いました。



杏奈が3年生，那奈が1年生



杏奈が1年生



杏奈が2年生



杏奈が2年生



杏奈が5年生



杏奈1年生，那奈が保育所生



那奈が保育所生